



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 齊藤 隆
幹事 鈴木 敏広
SAA 嵐 繁雄
会報小委員長 遠藤 洵

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

第 2955 回 例会 令和 5 年 10 月 11 日 (水・曇)

2023 - 24 年国際ロータリーのテーマ
世界に希望を生み出そう

会員卓話

根本 克頼 会員

影山 晴康 会員

◎会長挨拶—齊藤 隆会長



皆さん、こんにちは。本日はガバナー補佐訪問の予定でありましたが、私の方へ変更の案内が届いておりました。次週に行いたいと思います。連絡が遅れて大変申し訳ありませんでした。さて、最近はややく秋らしくなってきました。それと先日観月家族例会が開かれ、私は剣道大会で欠席させていただきましたが、どんな感じか小澤親睦委員長にお聞きしたところ最高に盛り上がった楽しい観月会でしたと聞き、私が目指している楽しい例会だったと思っています。最後には肩を組んで熱唱したということで私もその場に居たかったと残念でなりません。夜の例会、観月会と楽しい例会が継続して行くことで勿来ロータリーの輪になり、ひとりひとりが意識を持って会員同志向上につながって行くことが出来ればと思っています。皆さん本当にご苦労様でした。それから、先週の土曜日いわき勿来ライオンズクラブ様より創立 50 周年の案内が届いており私と鈴木幹事の 2 名で式典へ出席して参りました。式典の流れはロータリークラブとほぼ一緒でした。式典、懇親会と出席し懇親会では私と鈴木幹事で名刺交換をライオンズさんのメンバーとして参りました。皆さん地元ですのでロータリーだライオンズだけではなく、個人的に知っ

ている方ばかりでいろいろな話をして、今後も地元の職業人としてこういう形で情報交換をしながら人間的つながりをもってお互いに協力して行かなくてはと思いました。最近寒暖の差が激しくなっています。皆さんお体をご自愛下さい。ありがとうございました。

ロータリーソング 我等の生業

— 今月は地域社会の
経済発展月間です—
ロータリーの行動規範
吉野 嘉晃 会員



◎幹事報告—鈴木敏広幹事

- ・ガバナー事務所から 2026 - 27 年ガバナー選出の件の書類が届いています。
- ・2022 - 23 年度ガバナー事務所の地区決算報告書、監査報告書が届いています。
- ・2023 年度米山記念奨学生による体験発表会のご案内が届いています。
- ・いわき分区より新入会員セミナーの案内が届いています。入会 3 年以内が対象になります。
- ・米山記念奨学会より 10 月の米山月間資料が届いております。
- ・いわき小名浜ロータリークラブより 10 月のプログラムが届いています。
- ・会員である日本製紙の渡邊芳人さんの御尊父様が 9 月 22 日にご逝去されました。家族葬で行いましたとご案内をいただきました。
- ・勿来夏まつり実行委員会さんから礼状が届いています。

◎各委員会報告

◇出席・スマイル委員会—鈴木正人小委員長

- ・本日の出席状況は下記の通りです。
- ・やっと秋らしくなって来ました。齊藤会長、木村副会長、蛭田(剛)会長エレクト、鈴木(敏)幹事、高橋副幹事、赤津(慎)、清水、鈴木、嵐、高萩、木幡、小澤、渡邊公平バスタガバナー、川口、佐藤(政)、佐藤(泰)、影山、柏原、長谷川、星、根本、吉野(嘉)各会員
- ・誕生日ありがとうございました。

高橋副幹事、吉野(彰)各会員

◇親睦活動委員会—小澤啓一小委員長

今月が誕生月の方へ親睦活動委員会より誕生祝を差し上げたいと思います。名前を呼びますので前の方へどうぞ。高橋副幹事、吉野彰芳会員おめでとうございます。



◎会員卓話—根本克頼会員



皆さん、こんにちは。本日、卓話をされる予定でした大平ガバナー補佐とは親しくさせていただいているので話をお聞きしようと思っていましてガバナー補佐訪問が来週ということで自分が話をすることになってしまいました。通常は水曜日に私の業界の役員会がありますのでなかなか出席出来ませんでした。今日の役員会が明日に変更になり出席した今日この状況となりました。齊藤会長からは、これからのいわきについて 15 分話をしたいと言われましたが、それだと 15 分もたないのでいわきの経済界で大きな問題と認識しているのは地元企業の事業継承です。地元企業の社長さんの平均年齢が 62 歳、70 歳以上の社長さんで後継者がまだ決まっていない企業が半分あります。これがそのまま策も無しで行ってしまうと、

このいわきのそれぞれの地域の文化が消えてしまうという大きな危惧をもっています。例えばお店にしてもイオンや大手のショッピングモールがあれば良いという訳ではなく、地域のお肉屋さんやお菓子屋さんがあるからこそ大型店の魅力も出てくると思います。身内の中での事業継承、企業の中、もしくは第三者との間で事業継承、そういったものを実現出来るように地元の信用金庫さん、信用組合さん、金融機関さんと一緒に連携して 1 つずつ積み上げているところです。他にもいろいろありますが一番重きを置かなくてはいけないと思っています。

◎会員卓話—影山晴康会員



クレハは昭和 19 年 6 月 21 日に創立で来年が創立 80 年に当たります。いわきで創業して 80 年、その前身の会社が 10 年前に創業していますので合計で来年 90 年になります。なんとかこの地で 100 年企業を目指して頑張っていきたいと思っています。このクレハという会社は化学工業の製造業では非常に不利な場所ではあります。化学工業は港に近い所で原料を大量に海外から受け入れてそこで生産していくというのが通常です。コスト競争で戦っていますので、石岩にしても塩にしても小名浜港からここまで運ぶというのはデメリットになっています。我々は世界の化学工場で作れて作れないあるいは非常に競争力のある日本で数社しか作れていないところにしか生きる道はないということで、2000 年に入った頃から一般化学品から特長のあるニッチな隙間の所の化学製品を作って生き続けていることになりました。たとえばクレラップは競合はサランラップですが、2 社しかこのラップを作れていませんので市場をこの 2 社で分け合っています。それと KBF 樹脂といって自動車の金属に代わるエンジニアリングプラスチックがあります。大変軽量で熱に強いものでクレハだけでなく複数の企業が開発に取り組んでいて、車の走行距離を少しでも長くする為の燃費向上させる樹脂、そういった意味でも隙間的な製品があります。今年 8 月 21 日に発表された世界で 3 社しか作っていない電気自動車の電池部品を日本でクレハ 1 社だけ 2026 年度完成を目指し社運をかけて取り組んでいるところです。

出席状況	正会員数 本日出席会員数	37 名 25 名	カード出席 本日の出席率	0 名 77.78 %
------	-----------------	--------------	-----------------	----------------